〔石垣大志議員 登壇〕

○4番 石垣大志君 それでは通告書に従いまして、一般質問を始めます。大きい1番、新型コロナウイルスについて。(1)本町においても新型コロナ累計患者数が150名を超えた。第3波への対策が急務になると考えるが、今後の取組や支援策は。議長、休憩お願いします。

○議長 玉城 勇君 休憩します。

休憩 (午前10時33分)

再開 (午前10時33分)

○議長 玉城 勇君 再開します。石垣大志議員。

○4番 石垣大志君 大きい2番、子供のインフルエンザ予防接種費用の助成を。(1)新型コロナの感染拡大によりインフルエンザとの同時感染について不安の声がある。インフルエンザ予防接種費用の助成は、新型コロナ感染拡大による医療機関の逼迫を避ける効果もあると考えるが、対象の拡大を検討してはどうか。

大きい3番、各種統計のオープンデータ化を。(1)様々な統計資料や町の魅力発信・PRにつながる情報を利活用できるオープンデータ化構築を図れないか。

大きい4番、ドリームコート(花・水・緑の大回廊公園)の再整備について。(1)フットサルコート人工芝への声がある。ドリームコートの再整備の予定はあるか。答弁よろしくお願いします。

○議長 玉城 勇君 副町長。

○副町長 国吉真章君 それでは質問事項1点目の新型コロナウイルスについてお答えします。引き続き、マスクの着用や手洗い、うがいの励行、新しい生活様式の実践等の感染拡大防止に向けた取組を周知してまいります。また、今後とも国の動向を注視し、支援策を検討してまいります。

質問事項2点目の子供のインフルエンザ予防接種費用の助成についてお答えします。県内市町村の状況等を調査し検討してまいります。

質問事項3点目、各種統計のオープンデータ化についてお答えします。本町におけるオープンデータ化の取組は昨年度から行っており、地域ごとの年齢別人口の、過去5年分のデータをホームページにて公開しております。公共のオープンデータは、地域の課題解決、経済の活性化の促進が期待されており、今後、統計資料や町の魅力発信・PRにつながる情報についてもオープンデータ化に取り組んでまいります。

質問事項4点目のドリームコートの再整備についてお答えします。フットサルコートについては、現段階で再整備の予定はありません。以上です。

○議長 玉城 勇君 4番 石垣大志議員。

○4番 石垣大志君 ありがとうございます。それでは順次再質問させていただきます。この新型コロナウイルスでございますけれども、今現在も現状として本町の様々な事業者の方々、いろんな工夫の中、経済活動に取り組んでいると認識をしております。ただ、危機感のほうは今もなお残っておりまして、今年を乗り切ったとしても来年どうなるのかと。資金繰りがショートしたときにどこに頼ればいいのかであったり、追い詰められている方々、今現在もたくさんいらっしゃるというふうに思っております。各種国、県のコロナ給付金支援の対象から外れてしまった事業者の方々であったり、その影響でそこに雇用されている方々がまた収入減になってしまうという可能性も非常に高くなっておりまして、これからいろんな苦しい現実が既に見えている方々、事業者の方々もいらっしゃると思っております。そんな方々にも家族があり、子供がおり、そしてまた子供たちも感染拡大の影響によって、多大な影響を受けていると感じております。部活動の大会が中止になったり、行事が中止になったり、子供たちにおいてもこのコロナ危機を乗り切るサポートを必要としているというふうに思っております。また、感染拡大に不安を持つ医療的ケア児や基礎疾患を抱える保護者の方々もやはりこの危機意識を持って、今もなお生活の制限をしていることと思っております。子供からお年寄りまで世界が経験したことのない、今の危機に最前線で奮闘されている医療、介護の従事者の皆様におかれましては本当に心からの敬意と感謝を申し上げたいと思います。本町においても、苦しんでいる方々を支援できる体制づくりに全力で取り組んでいただきたいと思います。そこで伺います。

国の第三次補正予算が可決されました。沖縄県等、各省庁等々支援策の情報がこれから出てくるのかなと思っております。本町においても、これまで緊急事態宣言時の中であっても様々な対応をしていただきました。第1波、第2波の経験を踏まえて国、県の各種支援策、先手先手で情報提供をお願いしたいと思いますが、答弁いただけたらと思います。

○議長 玉城 勇君 総務部長。

○総務部長 宮平 暢君 国の三次補正予算は閣議決定をされております。実際に国会に提出されるのが1月の通常国会となっています。我々が把握していることについては、1月下旬には可決されて、その内容、配分額が2月頃には、南風原町の配分額が知らされるものと認識しておりまして、現段階で各職員には支援策を検討するようということで通知をしているところであります。以上です。

○議長 玉城 勇君 4番 石垣大志議員。

○4番 石垣大志君 ありがとうございます。是非ですね、医療提供体制の逼迫、今ちょっと心配でございますけれども、経済の状況の悪化、こっちも心配で。本当に見通しの見えない状況、個人的にはまだまだ続くのかなと思っております。是非、町長のほうから一言町民の方々にメッセージをいただけたらと思います。よろしく願います。

○議長 玉城 勇君 町長。

○町長 赤嶺正之君 お答えいたします。新型コロナ感染拡大防止に関しましては、これまでも機会あるごとに町民の皆様にご理解とご協力をお願いしているところでございます。答弁にもございましたけれどもマスクの着用、それから三密を避ける等々ですね、これまでお願いしてきたことを改めてお願いするわけでございますけれども、その中で新しい生活様式の実践といえますか、これは是非町民の皆様にも実践をしていただきたいというふうに思いますと同時に、特に最近感じますのが家庭内感染がございますので、それも是非防止するためにも沖縄独特のモアイですね、あるいはまた新年会等々も、大変申し訳ありませんけれども、このたびは自粛をしていただきたいということでございます。まず考え方といたしまして、自分が大事な人を大事にするためにも、愛する人を大事にするためにも、是非町民一人一人、皆さんが新たな生活様式の実践を守っていただきたいというふうなことでございます。事業者への支援に関しましては、これまで町といたしましても幾つか対応してきましたけれども、また新たな交付金もあるという見込みでございまして、それも活用いたしまして、可能な限り事業者、あるいはまた医療関係、それから介護関係の皆さん方につきましては国、県がそれなりの対応をしていると思っておりますので、町といたしましては保育、あるいはまた学童クラブ関係ですね、それから事業者の皆さん。そういった方々へ支援ができないか、今後また国の補正予算を見ながら検討してまいりたいと思っておりますので、ご理解のほどをお願いいたします。

○議長 玉城 勇君 4番 石垣大志議員。

○4番 石垣大志君 町長ありがとうございます。次に移りたいと思います。

2点目の子供のインフルエンザ予防接種でございますけれども、これまでの、過去の議会でも要望させていただきました。今年も町民の方からたくさん要望がございまして、今現在の医療提供体制の逼迫が本当に心配しているところでありますけれども、話を伺っていると、救急患者にも影響が今も出てきているという話も伺いました。今回のコロナ禍によってこれまで以上にインフルエンザとの同時感染、現状は全然はやっていないという話でもございますけれども、不安や関心が高まっている状況だと思います。1番の理由が、特に近隣市町村が次々と予防接種費用の助成を拡充していった分、また関心が高まっていったのかなというふうにも考えております。伝えたいことは、財政状況が非常に厳しいということも重々承知もしております。本町においては次年度も含めて費用の助成、まずは検討のほうから行っていただきたいと思っておりますけれども、答弁いただけたらと思います。よろしく申し上げます。

○議長 玉城 勇君 国保年金課長。

○国保年金課長 高良星一郎君 石垣議員の質問にお答えします。答弁にもありますように、近隣市町村の状況等も確認しながら、また財政とも調整しながら検討を進めていきたいと思っております。以上です。

○議長 玉城 勇君 4番 石垣大志議員。

○4番 石垣大志君 ありがとうございます。まずは検討のほうからよろしくお願ひしたいと思ひます。

次に3点目のオープンデータに関してですけれども、各種統計のオープンデータ化、知人から様々提言をいただきまして、今回の質問に至ったわけでございますけれども、やはりオープンデータ化に取り組むことによって、本当にいろんな課題解決につながるというふうには最終的にはそうなると思っております。このデータの活用が可能になりまして、オープンデータに取り組むことによってデータの活用が可能になると。データが集まってくると、今度データの可視化が可能になると。分かりやすく先進事例をいいますと、大阪市の事例でございますけれども、データを可視化することに取り組んで、これまで表で掲載していた保育施設の年齢別の空き情報をグーグルマップ上に表示して、地図を見ただけでどこの保育所があいているのかを、一目で分かるようにデータ化を可視化しております。簡単にいうと、保育施設の空き情報は今まではエクセルで何々保育園、所在地、ゼロ歳、1歳、2歳、3歳、4歳、5歳と表でホームページに掲載をしていた。それをグーグルマップ上に地図を見て、グーグルマップを開くとあいている保育園がぽつぽつと地図上に出てくるというようなデータの可視化に取り組んで、結果として住民から喜ばれているというような取組を行っております。これも一つの事例ではございますけれども、こういったオープンデータ化に取り組むことによってデータの活用が可能になって、データの活用が可能になることで今度は加工、分析をしていくことですね、このデータの可視化に取り組んでいる状況にあるというふうに思っております。ただ、私もまだ勉強不足でオープンデータ化を推進する必要はあると思っているんですけれども、各課の連携が必要になってくるということもお伺いしました。オープンデータの推進とデータの可視化、データの活用、データの蓄積、この辺を積極的にこれから取り組んでいただきたいと思ひますけれども、見解を伺えたらと思ひます。

○議長 玉城 勇君 企画財政課長。

○企画財政課長 与那嶺秀勝君 お答えします。議員おっしゃるとおり、このオープンデータのことは、これから様々な展開が考えられます。こういった状況もあるものですから、町としても積極的に情報についてオープンデータ化して、推進に取り組みたいと考えています。以上です。

○議長 玉城 勇君 4番 石垣大志議員。

○4番 石垣大志君 オープンデータなので公開していくという話なんですけれども、もちろん公開するデータ、縛りといいますか、規制もあってデータを出す前に選定をする、データの選定がまず必要になってくると思っております。選定後のデータの積極的開示と、その後のデータの活用、そしてデータの蓄積。蓄積したデータを可視化することで施策の

根本が強化されていくと。EBPMということが何かありましたけれども、証拠に基づいた政策立案が可能になると。政策の根本であるデータの部分が強化されることによって政策に対する精度だったり、評価、効果の測定だったり、そういったものができるようになってくるというふうに考えております。よって、一番最初の根本であるオープンデータの取組というものが重要になってくるのかなと思っております。このオープンデータに取り組むことによって効果的に実施できて、最終的には住民の利益につながっていくものと思っております。やはり今、子供たちがGIGAスクール構想によって新しい取組が始まって、地域の課題解決に貢献したいと子供たちが思ったときに、こういった分析されたデータ、可視化されたデータが、このオープンデータのような素材がない状況となってしまうと、GIGAスクール構想で培った子供たちの力というのが全然生きなくなると。なので、次の世代の子供たちの将来を考えてもこのオープンデータの取組は必要不可欠になってくるだろうと考えております。この辺を是非教育関係、教育部署から一言いただけたらと思います。

○議長 玉城 勇君 学校教育課長。

○学校教育課長 宮良泰子さん お答えいたします。学校現場では、町のことを子供たちが学ぶときには紙の本とかですね、特に3年生と4年生で、私たちのまちについてということで勉強しています。これがオープンデータ化されたということになると、これから子供たちはさらに深く分析をしたりとかということに活用していけると思いますので、今後、児童生徒への端末の整備をして、その活用の中で検討してまいりたいと思います。

○議長 玉城 勇君 4番 石垣大志議員。

○4番 石垣大志君 ありがとうございます。是非ですね、この取組はどの部署も絶対必要になってくる。取り組むことによって南風原町の方もパワーアップしてくるのかなというふうに考えております。ちょっとまた、事例がありまして、埼玉県戸田市が教育改革にデータの活用だったり、教育改革の取組にAIを活用して小中学校でAI評価ツールを導入し、従来、数値化されない評価をAIによって子供たちの耐候性や協調性、論理的思考力や共感、傾聴力等を数値で可視化し、AIがデータを補正し最終的なスコアを導き出すと。結果として教員の実感とAIのスコアが一致し、評価ツールの信頼性が確認できたと。学校現場がデータ活用の利点を十分に理解することによって、この子供たちへの学力の向上であったり、また教員の負担軽減にもつながるのではないかというふうにおっしゃっております。客観的な証拠に基づいた政策の立案というものがデータの活用によって可能になった事例でもあると思います。是非ともこの埼玉県戸田市の教育改革の取組、参考になるか分かりませんが是非とも活用していただけたらと思います。

次に4点目に行きたいと思います。ドリームコート（花・水・緑大回廊公園）の再整備についてでございますけれども、テニスコートの部分も含めて考えてもいいのか。花・水・緑大回廊公園とドリームコートの違いがあまり理解できていなくて、その辺を教えてくださいましたらと思います。

○議長 玉城 勇君 都市整備課長。

○都市整備課長 宮城良武君 お答えします。大志議員がおっしゃっている花・水・緑大回廊公園ということで、ドリームコートということで、通常我々の認識としてはドリームコートで、テニスコートの意味合いで考えていたんですけども、一般の方からも貸出しの場合、ドリームコートのサッカー、フットサル場とか、そういう問合せもあって、ドリームコート自体はテニスコートの意味合いであったんですけども、一元的に、昨日善之議員からも質問あったんですけども、テニスコートとかスケートボード場ですか、あとサッカーコートですね、それも含めて一応今ドリームコートという認識で話しています。

○議長 玉城 勇君 4番 石垣大志議員。

○4番 石垣大志君 ありがとうございます。自分の要望としましては、今テニスコート場が使われていない状況にあると。フットサルコート、インラインスケート場だったりとか、スリー・オン・スリーのバスケットの部分とか、再整備の予定があれば是非この、提案なんですけれども、那覇市のセルラーパークのような人工芝のイメージをしまして、多目的コートですね。そういったものを造るとサッカーもできますし、野球の練習もできると。テニスもできるし、保育園の運動会だったりスポーツイベントも開催できると。ちょうど高架橋の下なので雨もしのげますし、感染拡大にあまり関係ないのか分からないですけども、一応、人工芝、多目的に活用できる人工芝を是非造っていただきたいという思いがありまして、この辺の検討をお願いしたいと思いますが、見解を伺えたらと思います。

○議長 玉城 勇君 都市整備課長。

○都市整備課長 宮城良武君 お答えします。ただいま大志議員がおっしゃるように、今、ドリームコート、テニスコートも空いている状態です。私たち整備側としては、国からの補助金等も活用しながら、今言った用途関係を重々検討しながら検討していきたいと。追加で、今大志議員がおっしゃっているフットサル場でサッカー使用、貸し出ししている箇所はインラインホッケー場ということで、最初の整備はそれでやっております。ただ、兼用というか、確かにサッカーコートの場合はインラインスケート、下はプラスチックの状態になっています。その場合に、フットサルをする場合は摩耗だったり、選手のけが等も多いということで一応認識はしていますが、実際、人工芝にその場所を整備変えるとなると、インラインホッケーができない状態になると思います。それで今言ったドリームコート跡地とか、それも含めてまた芝等の検討ができるかどうか確認してまいりたいと思います。以上です。

○議長 玉城 勇君 4番 石垣大志議員。

○4番 石垣大志君 ありがとうございます。是非ですね、この多目的コートのような人工芝を大志議員、ちょっと要望してくれないかということをお子様たちからお願いされていますので、是非実現できたらいいなというふうに思っております。以上で終わります。ありがとうございました。